

特集 図書館サービスをもっと多くの人に

宮城県図書館では、図書館や図書館資料をもっと多くの人に利用いただけるよう、施設環境の整備や資料の充実などのサービスの向上に努めています。

今回の特集では、そのうちいくつかのサービスについてご紹介します。

◆ 郵送貸出サービス

来館が困難な方のうち、県内にお住まいで身体障害者手帳、戦傷病手帳、療育手帳、障害者福祉手帳をお持ちの方に、図書館資料を郵送し貸出するサービスです。図書と視聴覚資料(CD、ビデオテープ、カセットテープ、DVD、楽譜、録音図書(後述))の合わせて10点以内(視聴覚資料は5点以内、ただしその内DVDは1点まで)を、1か月以内で貸出しています。送料は本館が負担します。

◆ 拡大読書器

拡大読書器はいわば「電動虫めがね」です。読みたいページを開いて読書器の所定の位置に置くと、その部分が拡大されてディスプレイに映ります。いくつかの段階から倍率を選ぶことができ、画面の白地が読みにくい場合は黑白反転させて表示することもできます。視力の弱い方はもちろんですが、辞書などの細かい文字を読む際にも利用できます。



本館3階には計3台(新聞雑誌室、一般図書フロア、みやぎ資料室に各1台)の拡大読書器が設置されています。

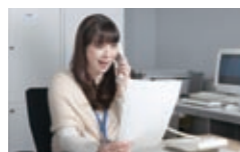
◆ 大活字本

大活字本は、活字が大きいのが特徴です。ゴシック体と明朝体で書かれたものがありますが、ゴシック体で書かれたものは、明朝体では横の線が極端に細いため、横線が見えず判読しにくい人のための配慮です。字が大きい分ボリュームが増すので、分冊されているものもあります。

拡大読書器同様、視力の弱い方だけでなく、細かい文字を読むのがつらいときにも利用できます。

◆ 音訳サービス

目が不自由な方のために、ご希望の資料を音読するサービスです。①来館時に直接音訳、②来館が困難な方に電話で音訳、③個人的にご希望の資料をカセットテープやCD(デジター図書/後述)に録音するなどのサービスを行なっています。図書館所蔵資料はもちろん、お手持ちの電化製品の取扱説明書などもお読みします。



音訳は主に、ボランティアの皆さんにより行われています。

◆ 録音図書

主に視覚障害者のために制作された、資料を音声化してカセットテープやCDなどに録音したものを録音図書といいます。

録音図書と一般的な朗読テープ・CDとの違いは、写真やグラフ、同音異義語などについて説明を加える(処理)配慮がされていることです。これまではカセットテープが主流でしたが、1本の録音時間が短いため、長編小説などは10本以上になることもあり。そのほか、カセットデッキへの出し入れが頻繁、郵送時にかさばる、テープが切れるなどの短所をクリアしたものが、デジター図書です。

◆ こんなサービスをしています

本館では、請求記号にCTSと表記のある録音図書は、視覚障害者だけでなく、「ページをめくれない」など「文字を読むことに障がいがある方(一時的な場合も含む)」にも貸出しています。

なお、本館に所蔵が無い録音図書については、他の図書館から借り受けて貸出しています。

◆ デジター図書

デジター(Digital Accessible Information System)とは、音声資料、あるいは音声・テキスト・画像などを組み合わせたマルチメディア資料の国際標準規格の名称です。この規格に基づいて製作された録音図書をデジター図書といいます。

外観は普通のCDですが、CDプレイヤーでは聞けません。再生機が、専用ソフトをインストールしたパソコンで聞けます。

デジター図書の特色は、①容量が大きい(最大45時間)、②頭出しが容易(セクションやフレーズという単位で区切られているため)、③しおり機能、④音声によるガイダンス機能などの、テープ図書を越えたさまざまな機能を持っている点です。これにより、長編の作品や辞書類などのテープ図書には不向きだった資料の製作が可能になり、利便性が高まりました。



◆ こんなサービスをしています

本館では、デジター図書は所蔵しておりませんが、他の図書館から借り受けて貸出しています。

◆ バリアフリー上映会

バリアフリーに関するもの、手話で演じられたもの、字幕付きまたは音声ガイドの入った作品を年に3~4回上映して、目や耳の不自由な方にもお楽しみいただける上映会を行なっています。

◆ 音声ガイド

セリフの合間や場面転換など、映像本来が持つ音声の隙間に視覚情報を「言葉」に置き換えて、音声で解説(ナレーション)したものです。人物の様子や情景描写などが解説されるので、目の不自由な方でも映像作品を鑑賞しやすくなります。

◆ こんなサービスをしています

本館では、手話で演じられたものや字幕付きまたは音声ガイドの入ったDVDを所蔵し、貸出しています。

○ 郵送サービスに関するお問い合わせ

利用サービス部 TEL: 022-377-8481 / FAX: 022-377-8493
E-mail: yuusou@library.pref.miyagi.jp

○ 音訳サービスに関するお問い合わせ

企画協力班 TEL: 022-377-8444 / FAX: 022-377-8484
E-mail: kikaku@library.pref.miyagi.jp

○ その他の障がい者サービスに関するお問い合わせ

利用サービス部 TEL: 022-377-8481 / FAX: 022-377-8493
E-mail: ippan@library.pref.miyagi.jp



トピックス KEN-TO

旬な情報を、fmいずみから

毎月第2木曜日の午前11時10分頃から、fmいずみ(仙台市泉区にあるコミュニティ放送局:周波数79.7MHz)の情報番組「Lady, Go!」内の宮城県図書館のコーナーに職員が出演し、県図書館の様々な情報をお知らせしています。

コーナーの放送時間は約10分。特別展のご案内や各フロア紹介のほか、上映会やおはなし会といった催しもの予定など、県図書館を利用する上で役立つような情報をピックアップして、パーソナリティの

方ともにお届けしています。職員は毎月交代で出演しています。

職員だからこそ伝えられる県図書館の「生」の情報を、直接県民の皆さまにお伝えするために、fmいずみのご協力のもとマイクに向かっていきます。

放送は仙台市泉区を中心とした地域でお聴きいただくことができます。お近くの方は、是非一度お聴きになってみてください。



fmいずみのスタジオで、生放送に緊張も一気に高まります。

※3月11日に発生した地震に伴い、通常プログラムを変更し身近な生活情報や災害情報を中心に放送中。今後の放送予定についてはfmいずみのホームページをご覧ください。URL: <http://www.fm797.co.jp/>



図書館員から読書のすすめ 『空を泳ぐキカイ』

企画協力班 塚 啓一

午前8時を少し過ぎ、職場の駐車場で車から降りる。

職員玄関までの50mほどの道のりを半分ほど歩いたところで、そう遠くはない距離からジェットエンジンの吸気音が聞こえ、職場の屋根から飛び出すように白と青に塗り分けられたコンパクトな機体が視界に入り、爆音とともに瞬間に飛び去っていく...

飛行機マニアが羨むような環境で、眠っていた飛行機好きが目を覚ましました。

思い返せばそれまで何度か飛行機との接点があったにもかかわらず、目覚めることがなかったのはその回数が多くはなかったからかもしれません。

鉄道マニアと同じように、飛行機マニアも「乗る人」と「撮る人」に分類されます。しかし、飛行機の場合はその特性から1回の搭乗に係る費用や撮影機材に係る費用(望遠が必要なため)が鉄道の比ではないため、私は自主規制し、専ら「見る人」を決め込んでいます。

気が向いた時だけ、普段持ち歩いているコンパクトデジカメで

撮影する程度で、あとはただひたすら飛行機を眺めます。戦闘機の機能美は言うまでもありませんが、たくさんの人命を預かって運行する旅客機の「重み」もまた魅力にあふれています。

航空機事故に遭遇する確率は自動車のそれよりも格段に低いということはよく言われますが、これは航空機を設計・製造するメーカー、十分な訓練を積んだパイロットのほか、客室乗務員や定期的な点検・修理などを行う整備員、地上スタッフや航空管制官などの、たくさんの方の力によって支えられているのです。

今回は戦闘機・旅客機を問わず「飛行機」に関する資料をご紹介します。みなさんの「快適な空の旅」が、より楽しいものになりますように...

こんな本を選びました

『ファイターパイロットの世界』	村田博生著 グランプリ出版 2003年
『飛行機と想像力』	橋爪紳也著 青土社 2004年
『旅客機・空港の謎と不思議』	谷川一巳著 東京堂出版 2005年

図書館 around the みやぎ

シリーズ第30回

仙台市広瀬図書館 館長 伊藤 扶佐子

広瀬図書館は、平成3年7月仙台市民図書館の分館として、広瀬文化センター・広瀬市民センターとの複合施設として開館しました。

平成20年4月より、公共図書館としては県内初の指定管理者として丸善㈱が管理運営を行っています。

ここ宮城地区は、地域開発等で近年急激に人口が増加し、現在は開館当時の約2倍の6万7千人を超えており、利用の方も徐々にではありますが年々増加の傾向にあります。

特色としましては、小さいお子さんを連れた若いお父さん、お母さん、また、ご年配の方のご利用の多いことがあげられるかと思えます。規模が小さいだけに利用者の方との距離も近く、きめの細かいサービスが求められるところでもあります。一例としまして、聴覚に障害をお持ちの方のご要望で全員が簡単な手話を覚え、ご挨拶程度はいつでもできるようなっています。

主な事業としましては、これまで行ってきた事業を継承しつつ新たな取り組みとして、近くの天文台と連携し、天文台でのお話会や天文台職員の方を講師に「子ども天文教室」を行っています。また、公募で委嘱した近隣の中・高生による選書アドバイザー会議で「決定版オススメ本リスト」を作成、また、地域の歴史を「広瀬図書館だより」として年2回発行し、

それに関する「歴史講座」を行っています。夏休みには中学生までを対象に読書スタンプラリーを行い、6回の来館で文具等のプレゼントをし、新規登録者や貸し出し冊数の増加につなげています。「自費出版講座」や「手製本講座」も好評をいただきました。

4月からの5年間も、引き続き丸善㈱で行わせていただくことになりましたが、開館20周年を迎える今年、職員のスキル向上と同時に、利用者アンケートや利用者懇談会での貴重なご意見・ご要望を参考にこれからも地域に役立つ図書館づくりを目指してまいります。

仙台市広瀬図書館

- 蔵書冊数 / 96,850冊(平成21年度末)
- 貸出冊数 / 361,364冊(平成21年度)
- 開館時間 / 10:00~19:00(火~金)
10:00~17:00(土・日・祝)
- 休館日 / 毎週月曜日、祝日の翌日
1月~11月の第4木曜日
年末年始、特別整理期間
- 交通 / 仙台市営バス「愛子駅前」下車 徒歩5分
JR「愛子駅」下車 徒歩7分

住所 / 〒989-3125 仙台市青葉区下愛子観音堂5
TEL / 022-392-8421 FAX / 022-391-6113
ホームページ / http://lib-www.smt.city.sendai.jp/guide/fac_hirose.html

